

検査ニュース

Vol. 2 No. 9

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、検査内容変更、検査受託中止及び新規項目についてご案内致します。

公益財団法人佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 志 田 正 典

●検査内容変更

(平成 31 年 4 月 1 日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
42	1235	エステル型コレステロール	検査方法	コレステロール脱水素酵素 (UV) 法、酵素法	コレステロール酸化酵素 (GOD-POD) 法、酵素法	より広く利用されている検査方法の試薬へ変更
87	1238	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) [CLEIA]	報告範囲	L-FABP濃度 0.50未満、 0.50～99999.99 L-FABPクレアチニン換算値 (設定なし) 0.01～99999.99	L-FABP濃度 0.20未満、 0.20～99900000 L-FABPクレアチニン換算値 0.01未満、 0.01～99900000	
54	2322	BCA225	検査方法	EIA	CLEIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および検査方法、基準値、報告範囲、検体量の変更
			基準値 (単位)	160以下 (U/mL)	160未満 (U/mL)	
			報告範囲	30以下、 31～99000000	20.0未満、 20.0～99900000	
			検体量	0.2mL	0.3mL	
54	2333	血清抗p53抗体	検査方法	ELISA	CLEIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および検査方法、報告範囲の変更
			報告範囲	0.40以下、 0.41～99900000	0.40未満、 0.40～99900000	

●検査受託中止

(平成 31 年 3 月 28 日ご依頼分をもって受託中止)

検査受託中止項目 (新規項目受託開始のため)			代替項目		備考
案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	項目コード No	検査項目	
55	2811	可溶性IL-2レセプター	3207	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	検査受託中止により、新規項目にてご案内致します。
77	1658	IgG4	1665	IgG4 (LA)	次ページ参照
100	2159	抗酸菌核酸同定 (DDH)	2158	抗酸菌同定 (質量分析)	「検査ニュースVol.2 No.3」参照

検査ニュース Vol.2 No.9

●新規項目

◆可溶性IL-2レセプター

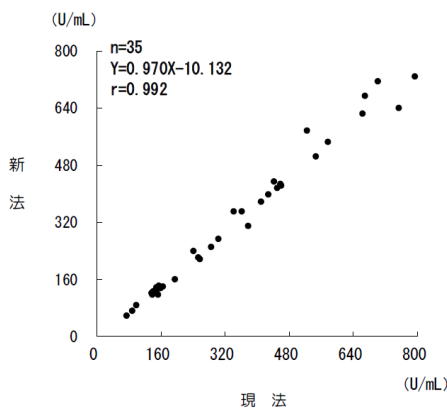
(検査受託可能)

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R) は、非ホジキンリンパ腫やATLでは病態の変化を鋭敏に反映するため、治療経過のモニタリングや寛解後のフォローに有効とされています。このたび新規開発試薬による可溶性IL-2レセプター (sIL-2R) を受託開始いたします。基準値はメーカー設定値です。

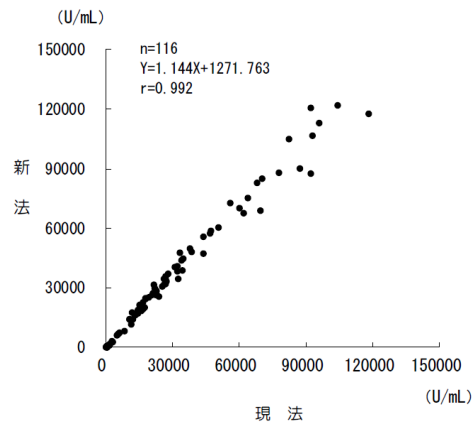
項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)
3207	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	血清 0.5	スピッツ	438 ※4	2~4	CLEIA	157~474 (U/mL)

※4 生化学的検査(Ⅱ)判断料

▼(参考)従来試薬との比較 (低値域)



(全体)



◆IgG4

(検査受託可能)

このたび新たに開発された国内試薬によるIgG4の測定を開始いたします。新試薬は、測定原理にラテックス比濁法の競合法を採用していることから、抗原過剰域におけるプロゾーン現象が回避できる特徴を有しています。また、基準値は、共同研究による日本人データをもとに設定されております。

項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)
1665	IgG4 (LA)	血清 0.5	スピッツ	377 ※5	2~4	ラテックス免疫比濁法	11~121 (mg/dL)

※5 免疫学的検査判断料

▼(参考)従来法との比較

